

「認知症講演会」を開催

田村医師会、田村市、三春町、小野町の主催による認知症講演会が2月18日、勤労青少年ホームで開催されました。

講演会では針生ヶ丘病院精神科の熊代新医師が講師として招かれ、約300人の参加者と手指の模倣や時計読みテストなどを一緒に行いました。また認知症の予防として有酸素運動、一日前の日記を書くこと、料理や旅行、園芸、ゲームなど、頭を使いながら楽しめる趣味などが具体的に紹介され、参加者からは笑いや今後生かしていきたいとの声が聴かれました。

認知症はとても身近な病気に関心があり、さまざまな症状や行動により、困っている方も多く、安心して生活していく社会をどう作っていくかが問題となっています。

1人でも多くの方が認知症を理解し、家族や地域の方の協力を得ながら、予防や早期発見と治療に結びつけていくことが大切です。

健康福祉課 ☎72-6934

地域包括支援センター ☎72-2128



1



2

1_講演会の様子/2_手指の模倣などを行う参加者の皆さん

平成29年度から 「小野町認知症高齢者等GPS機器導入補助」を実施します

認知症による徘徊などで、行方不明となる方が全国的に増加しており、町内でも同様の事例が数件発生しています。

そこで町では、認知症などで居場所がわからなくなった高齢者などを、GPS機器(※)を用いて探索することで、介護者の負担軽減を図り、高齢者などが安心して町で暮らすことができるよう、GPS機器導入の補助を実施します。補助の対象者などは次のとおりです。

◆対象者

町内に住所を有し、次のいずれかに該当する方

- ①65歳以上で認知症による徘徊が認められる方
- ②若年性認知症により徘徊行動または徘徊行動のおそれのある方
- ③その他町長が認める方



◆補助対象経費

GPS機器の初期導入経費(機器代、手数料など)
なお機器の月々の利用料金については、個人の負担となります。

◆補助金額

補助対象経費の10/10を補助(上限10,000円)

◆その他

補助は対象者1人につき1回となります。

※GPS機器とは？

位置情報システム(GPS)を活用した携帯型の機器。利用者と事業者が契約を交わし、携帯型の機器を身に付けた方がどこにいるかネットで検索が可能で、介護者などがすぐに現地へ向かえない場合は、事業者がその場所へ駆け付けるサービスなどを利用することができます。

健康福祉課 ☎72-6934